

# 海上保安官という意識

東京湾海上交通センター情報課情報官付



## — 現在の仕事の内容はどのようなことですか？ —

私は、海上保安学校卒業後、東京湾海上交通センター情報課に配属され、現在2年目を迎えています。現在の仕事は、東京湾内を航行する船舶への海上交通情報の提供です。

ラジオ放送（日本語・英語）やインターネットで、巨大船の航路入航予定や気象情報、事故情報、工事作業情報などの船舶が安全に航行するために必要な情報を提供しています。

また、携帯ページやテレホンサービスでも同様の情報を提供しています。

イメージがわきにくいかと思いますが、パソコンやインターネットを使って情報を編集し、その情報を船舶などの利用者の方へ提供するという仕事です。

## — 海上保安庁に入った動機やきっかけは何でしたか？ —

海上保安庁を知ったきっかけは、こどもの頃に観たテレビニュースでした。海で取締まりを行う様子がとても印象的で、詳しく調べていくうちに、私も海の安全、平和を守る仕事をしたいと思い、海上保安学校を受験しました。

## — 海上保安庁に入って、印象に残っていることは何ですか？ —

職場で言われた「入庁何年目は関係ない。海上保安官として見られているという意識を持つ」という言葉です。私は、現場2年目で、船や海、海上保安庁についても、まだまだ勉強中です。しかし、私の発する情報も、利用者の方から見れば海上保安庁の情報です。ですから、私の発言、行動などその責任は重大であると思いました。

今は、諸先輩方に助けていただきながら、日々勉強の毎日ですが、適時的確な情報提供を目指し、東京湾を通航する船舶が安心して航行してもらえるように頑張っていきたいと思っています。

## — これから海上保安庁を希望する人達に一言 —

海上保安庁＝海猿というイメージから、海上保安庁は体育会系の過酷な職場のみと思われがちです。しかし、どの職場も基礎体力は必要であると思いますが、体育会系の職場ばかりではないようです。多くの女性職員の先輩方も活躍されています。

私は、体力には、あまり自信がありません。海上保安学校での訓練科目でも、いつも足を引っ張るばかりでした。しかし、そんな私でも海上保安学校での訓練や生活で、基礎体力がつき（自己評価ですが…）無事卒業、現在、海上保安官として働いています。

「海上保安庁に興味はあるけれど、体力に自信がないから…」そんな方も、やる気さえあれば大丈夫です。海の平和、世界の平和、地球の平和を守りたいと思っている方、是非、

一緒に働きましょう！！